

# 広報ぬまた **Numata** 4

2022.4.28

Vol.659

## 楽しい小学校教育生活が楽しみ!!



### 4 / 6 沼田学園沼田小学校入学式

#### 今月の主な内容

- ★町政執行方針・・・2
- ★教育行政執行方針・・・6
- ★令和4年度主要事業・・・8
- ★まちレポ・・・12
- ★沼田警察庁舎から・・・19
- ★沼田消防から(消報)・・・20
- ★ふれあいインフォ・・・21
- ★生涯学習ゆめっくる・・・22
- ★図書館バックヤード・・・23
- ★役場機構図・・・24
- ★まちの話題と人の動き・・・26



JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！  
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



# 令和4年度

# 町政執行方針概要



## 町長 横山 茂

3月10日に開会された第1回議会定例会で、横山町長が令和4年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

まちづくりの指針とする「沼田町第6次総合計画」は、令和元年度に町民皆様のご意見を伺い策定し、前期計画期間4年の最終年度を迎える年となりました。

まちづくりの最上位計画である本計画では、町が目指す将来像として掲げた「子どもたちが誇りをもてるふるさと創造」く夢とやさしさにあふれる小さなまちの大きな挑戦を基軸に5つの基本目標の実現に向けた3つの重点戦略と、町の活力の礎となる人口維持・確保を政策のコンセプトとし「関係人口の創出・拡大」をキーワードとして策定した「第2期沼田町総合戦略」を有機的に展開することと、地球温暖化対策が世界規模での対策が求められる中で、

令和3年第3回定例会において空知管内で初の議決をいただきました「北海道沼田町ゼロカーボンシティ宣言」2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けて、本町ならではの利雪事業などの取り組みを含め、「町民」「企業事業者」「行政」が一体となった取り組みを着実に進めることとし、国が令和4年度の成長戦略として推進する、デジタル田園都市国家構想や気候変動問題（クリーンエネルギー戦略）などの取り組みを見極め、既存事業の見直しと新規事業を加えることで施策に厚みを持たせ、町民の満足度・幸福度の向上に向けて柔軟かつスピード感をもって、持続可能なまちづくりを目指してまいります。

### 〇健康づくりの推進

第2次沼田町健康増進計画に基づき、町民一人ひとりが健康的な生活習慣を身につけ、主体的な健康づくりに取り組むとともに、自らの健康寿命の延伸を目指しているよう生活習慣病予防と重症化予防の徹底を図ることとし、各種

健診の費用助成等を継続してまいります。また、妊娠から出産、新生児期及び乳幼児期を通じ、母子ともに健康で健やかに成長発達できるように、「妊婦一般健診」や「母乳外来等利用」、「乳幼児健康診査」などを始め、母子の健康づくり等に関する各種助成事業等を継続することにより、安心できる育児環境の確保に努めます。

## ○高齢者福祉・介護の充実

介護施設等での人材不足は全国的な課題となっており、本町においても介護人材の確保は喫緊の課題であることから、介護従事者の人材確保と定着を目的とした「介護従事者就業支援助成事業」をより広くPRし、介護人材の確保による介護サービスの維持と充実を図るとともに、「高齢者元気100倍！教室」や「まるごとげんき運動教室」などの介護予防事業を継続するなど、高齢者が安心して元気に暮らせる福祉事業の充実に努め、高齢者が働くことにより地域社会の活性化に貢献する組織とし

て、社会福祉協議会が運営する「シルバー人材センター」や、趣味や特技を活かしながら活動する「介護支援ボランティア」などをより充実させ、技術や経験、知識を持った方々の力を最大限に活かし活躍いただく体制づくりを、社会福祉協議会と連携し構築してまいります。

## ○子育て支援の充実

令和2年度を始期とする「第二期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、今後においても地域子育て支援センター運営事業などの子育て支援事業や母子の健康づくりに関する健診費用助成や不育症治療費助成などに取り組むとともに、新たに弱視の疑いのある児童の早期発見と早期治療につなげるため、北空知1市4町で「小児屈折検査器」を導入することとしております。

## ○農業の振興

水稻を中心とした営農体制の安定維持には、畑作や高収益作物も含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得の確保と農業経営の安定化を図るため、引き続き、農業所得向上対策事業、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度、良品質米栽培助成事業、スマート農業技術の導入・普及促進、雪中米など地場農産物のブランド力向上と販路拡大を図る首都圏アンテナショップ設置事業などを継続実施するとともに、水稻栽培における生産コスト削減による所得確保のため、新たに「稲作経営超低コスト化体質強化事業」に取り組むこととして所要額を予算計上いたしております。

## ○「輝け雪のまち宣言」20年記念事業

雪と共生するまちづくりを目指す「輝け雪のまち宣言」から20年を迎え、また、昨年「ゼロカーボンシティ宣言」の議決を得たところであり、これまで「利雪」など

環境にやさしい取り組みを世界に先駆けて実践してきておりますが、宣言20年を契機にあらためて「雪の持つ魅力と可能性」を再認識するとともに、町民皆様に本町の宝である「雪」を更に身近に感じて頂くため、記念事業に係る所要額を予算計上いたしております。

## ○私有林森林整備振興事業及び町有林管理事業

「ゼロカーボンシティ宣言」の具現化に向け、森林資源の循環利用を促進し、二酸化炭素の森林吸収量確保など森林の有する多面的機能の発揮を図るため、新たに町内私有林の下刈・間伐などの整備に要する経費の一部を助成する「沼田町私有林森林整備振興事業」と、町所有天然林の間伐などに要する所要額を予算計上いたしております。



# 令和4年度 町政執行方針概要

## ○商工業の振興

第6波となる、新型コロナウイルス感染症の拡大による北海道のまん延防止等重点措置指定により、飲食店を中心とした商工業者は長期に亘り深刻な影響を受けていることから、町内での消費喚起と経済循環を促進する「ぬまた町元気応援商品券配布事業（第5弾）」を予算計上し、時期を逸することなく地域経済対策と町民生活支援に取り組むことといたしております。

## ○企業誘致の推進

コロナ禍により、積極的な企業訪問活動は見合わせておりましたが、「サテライトオフィス」や「ワーケーション」などのニーズを捉え、企業立地意向調査と併せて本町の取り組みを紹介し、サテライトオフィスの利用を足掛かりに有意企業との繋がりを深めてまいります。

## ○観光の振興

本年度も感染対策を実施した上で各種観光イベントを計画しており、本町の最大イベントである「夜高あんどん祭り」については、2年間開催に至っておりませんが、WEB動画やSNSなどを活用した継続的な情報配信を行い、より多くの集客を目指してまいります。

## ○沼田町まるごと自然体験プロジェクト

令和2年度から地方創生推進交付金を活用し、コロナ禍でありましたが地域資源を活かした事業化

の可能性調査、磨き上げ、トライアルなどに取り組み、令和5年度の自然学校設立に向け取り組んできたところであり、本年度は準備最終年として、人々が集うためのコワーキング機能を更に発展させ、プレオープンを意識で事業を展開してまいります。



## ○特産品開発（クラフトビール）について

新たな特産品の開発に向け、産業づくり支援員によるクラフトビールの醸造研修や実習等を中心に取り組んできたところでありますが、本年度はクラフトビールの試験醸造の委託と、町民で構成する「ぬまたクラフトクラブ」を立ち上げ、大学と連携した調査事業を含め、町民に向けた様々な事業を展開することで、本町のクラフトビールに関わる「作る人、売る人、飲む人」を繋ぎ「オールぬまた」で特産品開発に取り組んでまいります。

## ○移住・定住の推進

スपीデーイかつ、きめ細やかに移住を希望される方の立場に寄り添って、1件1件丁寧な対応を積み重ね、令和4年度においても転入超過に加えて人口増加に転ずるよう「オールぬまた」で取り組んでまいります。

また、町民による太陽光発電設備の設置を支援し「ゼロカーボン

シティ宣言」の具現化を推進する、沼田町住んで快適住まいる応援条例施行規則を改正することといたしております。

## 〇ふるさと納税

この制度は、全国の多くの皆様から「ふるさと沼田」を応援していただくものであり、本町の魅力発信にも有効な手段であることに加え、今後のまちづくりが必要とする財源確保としても大きな意義があることから、返礼品の品揃えなどの工夫はもとより、まちづくり財源としての使途の見せ方など広告宣伝に工夫、強化を図ってまいります。

## 〇JR留萌本線応援事業

JR留萌本線につきましては、引き続き深川・沼田間の一部存続を求める要請活動と利用促進活動に取り組むことに加えて、本町が提案する「鉄道ルネサンス構想」を含め、北海道における鉄道の意義を再認識し議論を広げる活動の一環として、JR石狩沼田駅に留

萌本線や札沼線などの鉄道資料の展示などを行い、これまで鉄道が担ってきた歴史や魅力の発信に取り組んでまいります。

## 〇防災対策

近年、地球温暖化による異常気象がもたらす集中豪雨などにより、全国各地で甚大な災害が多発し日頃から災害に備える意識付けが必要であり、昨年度はコロナ禍により開催を見合わせました自衛隊や各関係機関と連携した防災訓練を開催することとし、併せて職員の初動体制の確認などに取り組み緊急時に備えてまいります。

## 結びに

我が国は、少子高齢化による人口減少の急速な進展や、政治・経済・文化・人口の東京一極集中などの様々な課題への対策が求められる中で、新型コロナウイルス感染症拡大により2年を超える消費経済活動の低迷に加え、ウクライナ情勢の緊迫化や中東情勢の悪化

などから原油価格の高騰による国内物価が押し上げられるなど、コロナ危機とともに国民の生活環境が大きく変化し、また、地球規模で環境への負荷を考える「SDGs」や脱炭素社会を目指す「カーボンニュートラル」といった世界共通目標への対策が求められております。

本町はこれまでも、目まぐるしく変わる社会環境と顕在化する幾多の地域課題の克服に向け、町民皆様と地域への思いを共有し地域の持つ力と創意工夫を持って取り組んでまいりましたが、今後、更に自治体運営が厳しさを増すことが予想される中で、将来を見据え持続可能なまちづくりは、関係・移住・定住人口対策を基軸に捉え、攻めと守りの戦略を「あれも、これも」から「今すべきこと、今だからできること」の選択により、地方創生に向けて果敢に挑戦することが必要と考えております。

令和4年度は、私の一期目の最終年度となりますが、コロナ後の社会を見据え、私の所信でありま

す「夢と希望と誇りを持てるまちづくり」の実現に向けて、人の絆、地域との繋がりを大切にしながら、町民皆様とお約束したまちづくりを着実に実行できるよう、職員と共に「新たな視点」と「新たな創造」をもつて「オールぬまた」で挑戦してまいりますので、議員各位並びに町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和4年度の町政執行方針といたします。



# 令和4年度教育行政執行方針概要



## 教育長 吉田 憲 司

3月10日に開会された第1回議  
会定例会で、吉田教育長が令和4  
年度の教育行政執行方針につい  
て述べました。

今回の広報では、その主要な部  
分を掲載いたします。全文をご覧  
になりたい方は、役場総務財政課  
までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症は、  
私たちの生活様式や社会情勢など  
に大きな変化を生じさせており、  
その影響は健康や福祉、活動の自  
粛による経済活動の低下など、あ  
らゆる分野に及んでいます。こう  
した中でも、持続的に児童生徒な  
どの教育を受ける権利を保障して  
いくため、学校における感染及び  
その拡大リスクを可能な限り低減  
した上で、学校運営を継続してい  
く必要があります。

文部科学省が示す「新型コロナ  
ウイルス感染症に対応した持続的  
な学校運営のためのガイドライ

ン」などに基づき、新しい生活様  
式の実践に向けた学校運営を進め  
てまいります。

現在、GIGAスクール構想と  
して、学びの実現に必要な環境の  
整備を進めています。ICTを活  
用した新たな教育スタイルの構築  
に向けた多様な授業実践の普及に  
努め、子どもたちが変化する社会  
の中で主体的に生き抜くことがで  
きるよう、地域社会に貢献する人  
材を育成する教育を着実に進めて  
まいります。

生涯学習の推進については、町  
民一人一人が生涯を通じて学び続  
け、豊かさを実感できる充実した  
生活を送るためには、確かな知識  
と教養を身に付けることが必要で  
す。仲間づくりを通じて生きがい  
のある生活を実現するとともに、  
将来に向けてスポーツに親しむこ  
とができる環境づくりを進めてま  
いります。



## ○沼田町総合教育計画の策定

平成24年度に策定いたしました「沼田町総合教育計画」が、令和4年度をもって10年を経過し、計画期間の終期を迎えることから、沼田町第6次総合計画との整合性を図りつつ、新しい時代に対応した「第2期沼田町総合教育計画」（令和5年度～令和12年度）の策定作業を進めてまいります。

## ○一貫・連携教育の推進

沼田学園は、小中統一した学習スタイルを、学習規律・生活規律などの取り組みにより、学力向上が図られるなどの成果を上げてきたところです。9年間を見通した教育課程については、教職員の指導内容の系統性についての理解を深め、授業実践と改善に引き続き取り組みます。

## ○学力向上対策の推進

学力向上のため、全国学力・学習状況調査やNRT標準学力検査の結果から、「知識・理解」と比較して、「思考・判断・表現」に課題があることが判明しています。課題を解決するために、主体的・対話的で深い学びの視点からの組織的、計画的な研修体制の充実を図り、教職員個々の授業力向上、授業改善に取り組むとともに、9年間のつながりを意識した学習規律、家庭学習などの確立を図っていきます。

## ○ふるさと教育やキャリア教育の充実

沼田町は先人のためまぬ努力により、北国の厳しい条件を克服しながら発展してきました。その先人のフロンティア精神と美しい自然を継承しつつ、ふるさと沼田への愛着や誇りを育みます。各種事業を通して逞しく生き抜く子どもたちを育成するため、地域の方々にご協力いただきながら、沼田ならではの教育を進めるとともに、地域社会の一員として議会や行政

の意義やしくみへの理解を深める「中学生議会」を昨年に引き続き実施いたします。

## ○地域・家庭教育の充実

家庭、学校、地域が一体となった教育の実践に向けて、子どもたちの安心・安全のために見守りや声掛け、あいさつ運動などを展開していただいている「沼田っ子サポーター」の活動につきましては、研修会を開催しながら、警察や交通安全協会、防犯協会や「こども110番」、自治振興協議会などとも連携強化を図り、取り組みを進めてまいります。

## ○社会教育施設

化石体験館については、令和元年度から着手していた「ヌマタネズミイルカ復元骨格」の完成に伴い、館内の展示を見やすく一新し、オープン時期となるゴールデンウィーク時期にヌマタネズミイルカに縁のある研究者を招聘してのシンポジウムを開催するとともに、化石の発掘体験メニューなど

を提供し、貴重な太古の資源を町内外に広く発信してまいります。

また、北海道のモデル事業として準備を進めてまいりました「北海道デジタルミュージアム」につきますしては、4月頃本公開の予定となっております。デジタルミュージアムによつて、化石体験館に興味を持ち、足を運んでもらうきっかけになることを期待しております。

## ○スポーツの振興

スポーツは、健康長寿社会の実現に貢献することからも、生涯にわたつてスポーツに親しむことができる環境を整備していくことが重要です。

本年度におきましてもスポーツ関係団体の活動を支援すると共に、スポーツを通じた親睦や交流のために「第49回町民体育祭」や「おはようラジオ体操」、「各種パークゴルフ大会」、「水泳教室」、「各種スポーツ教室」など、コロナ対策を講じ、関係団体と連携しながら展開してまいります。

## いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

# 令和4年度予算

# 主要事業①

### ■小児屈折検査体制整備事業

【新規】264千円

乳幼児健診で使用する小児屈折検査機器の整備を行い、弱視の検知及び適切な治療を早期に開始できる環境を整えます。

### ■マタニティクラブへの助産師派遣事業

【新規】16千円

妊婦さんが妊娠・出産・産後についての正しい知識を獲得し、妊娠中や出産の不安・疑問解消及び妊婦さんの交流を目的としたマタニティクラブへ助産師を招聘し、母体管理や生活面の指導等に取り組みます。

### ■高齢者等活躍の場応援事業

【新規】337千円

現在ある介護ボランティア・シルバー人材センター等の相談窓口を一本化し、気軽に相談できる環境を整備し、高齢者が健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり交流することが出来る事業を行います。

### ■軽度・中等度難聴者（児）補聴器

購入費助成事業【新規】372千円

身体障がい者手帳の該当とはならない「軽度・中等度」難聴者の積極的な社会参加や地域交流を支援し、社会福祉の増進に寄与することを目的に補聴器購入費を助成します。

### ■新型コロナウイルス感染症対策

【継続】12,957千円

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの接種に向けた体制の確保及び接種に係る費用を計上するとともに、感染者の濃厚接触者等のための自主隔離施設を設け、不安の軽減と地域における感染拡大を最小限にするための対策を講じます。

### ■高齢者住宅等周辺整備事業

【新規】266,604千円

沼田町農村型コンパクトエコタウン構想では、歩いて暮らせるまちづくりを進めており、その範囲内に位置する「暮らしの安心センター」周辺に、冬期間の除雪などに不安もなく、安心して生活することができる「高齢者住宅（1棟5戸）」の建築及び周辺の整備を行います。



## にぎわいのあるまちづくり〔企業誘致の推進〕

### ■沼田町食糧貯蔵流通基地構想と沼田版シリコンバレー構想の実現に向けた新たな企業誘致戦略事業【新規】3,300千円

沼田町で今まで取り組んでいる各種事業（移住定住関連事業、企業誘致推進事業等）の事業成果や、企業とのつながりについて整理し、企業ニーズをとらえた、地方進出を検討する企業への戦略的な誘致活動を展開して行きます。



## にぎわいのあるまちづくり〔農業の振興〕

### ■ 鳥獣被害防止対策及び加工用トマト生産拡大事業【新規】323千円

有害鳥獣問題に関心を持つ北海道内の大学生によるサークルと連携し、本町で鳥獣対策を研修し、農業被害の実情と駆除の重要性への理解を深めて頂き、併せて加工用トマトの収穫体験を実施し、今後の労働力不足解消に向けての検討を行うとともに、関係人口の創出・拡大を目指します。

### ■ 加工用トマト活用拡大推進事業【新規】710千円

沼田町は日本一の加工用トマトの産地を目指し、栽培面積・収量拡大のための新しい技術の導入、収穫した加工用トマトの活用先、製品の流通網整備などの課題解決へ取り組みます。

また、北海道内の他の産地、関係企業・団体などとの連携を図るため、北海道における加工用トマト拡大協議会の設立に取り組みます。

### ■ 加工用トマト家庭菜園栽培活用事業【新規】

沼田町民の家庭菜園にて加工用トマト「なつのしゅん」を栽培いただき、加工用トマト産地としての認知度向上を目指します。

また、加工用原料の栽培普及（特産品原料の安定供給）へ取り組みます。

### ■ 稲作経営超低コスト化体質強化事業【新規】2,100千円（中山間事業）

米価下落等により、農業収入が大幅に減少しており、生産コストの低減が体質強化に不可欠であることから、大幅な生産コスト削減を目指し、先進地視察など、コスト削減に向けた取り組みの検討を進めます。

### ■ 気象予測システム実証試験事業【新規】1,000千円（中山間事業）

令和4年度から民間企業において気象予測システムの運用が始まることから、本システムを活用した運用を行い、農作業の効率化、生産管理に活かす実証試験を実施します。

## にぎわいのあるまちづくり〔商工業の振興〕

### ■ 沼田町特産品開発事業（クラフトビール）【新規】4,724千円

沼田町にはトマトジュースや雪中米をはじめとした様々な特産品がありますが、新たな特産品として「クラフトビール」の開発を行い、受容性調査から町内料飲店での販売、醸造までを目標として、沼田町の新たな特産品開発に取り組みます。

### ■ ぬまた町元気応援商品券配布事業【第5弾】15,874千円

コロナ禍において、人流減少の影響を直接的に受けている町内商店等の消費喚起と町民生活を支援するため商品券をお配りし、地域の元気回復を図ります。

《事業概要》配布対象 基準日以降、本町の住民である全町民（和風園、旭寿園、なごみを除く）

交付額 一人につき5,000円（共通3,500円、飲食限定1,500円）

## にぎわいのあるまちづくり〔観光の振興〕

### ■沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業【継続】 24,056 千円



幌新地区の温泉・ほたるの里を含めた地域資源を活かして、地域ブランドの醸成と発信や町民の交流をコーディネートする組織「(仮称)沼田自然学校」の設立準備に取り組みます。

自然学校では、自然体験事業を実施するほか、ノマドワーカーを定期的に招き、様々な活動を行う場を構築するとともに関係人口・交流人口の増加を促進し、「地域の稼ぐ力」を発揮することで地域の活性化を図ります。

### ■ほたるの里 夏のSNOW マラニック【新規】

自分のペースで無理なくマラソンを行える「マラニック」を開催します。コースの途中には本町の特産品を味わえる休憩所をご用意し、またゴールでは火照った身体を雪でアイシングなど、沼田町でしかできないイベントを開催します。

## ゼロカーボンに向けたまちづくり

### ■再生可能エネルギー導入支援事業【新規】 2,000 千円

再生可能エネルギー設備（太陽光発電・太陽熱利用・バイオマス熱利用・雪冷熱利用等）を自己消費として事業の用に供するために導入する費用の一部を助成します。

《事業概要》

〔対象者〕

- ①本町の住民基本台帳に記載されている者で自ら事業経営（農業者含む）を行っている方
- ②本町に事業所若しくは営業所を有する法人（農業生産法人、農事組合法人含む）
- ③新たに購入する再エネ設備等を設置する者

〔対象設備〕 太陽光発電、太陽熱利用、バイオマス熱利用、雪冷熱利用 等

〔補助要件〕 熱利用や発電に関係なく、再生可能エネルギーを自己消費により事業の用に供することを目的とした導入設備に限る。（売電を目的とする事業は対象外）

〔補助率〕 ・雪冷熱エネルギー 4/5 以内（上限 2,000 千円）

・その他再生可能エネルギー 2/3 以内（上限 2,000 千円）

### ■町有林管理事業【新規】 2,500 千円

町有林の作業路開設及び間伐（受光伐）等、森林施業をおこない、施業による二酸化炭素吸収効果の向上と、間伐した木材を加工・販売により付加価値を生み出し、ゼロカーボンを推進します。

### ■私有林森林整備振興事業【新規】 107 千円

下刈や間伐などの森林整備事業に対する助成を行うことにより、計画的な森林施業の推進を促進し、二酸化炭素の森林吸収量の確保など森林の有する多面的機能の発揮を図ります。

## にぎわいのあるまちづくり〔移住定住の促進〕

### ■ 移住定住ブランディング戦略事業【継続】 1,294 千円

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

### ■ 地域おこし協力隊定住支援事業 【新規】 1,000 千円

沼田町地域おこし協力隊任期終了から1年以内の方が、町空き家バンクに登録された居住用住宅（任期中に居住していた住宅を除く）を取得し、リフォーム又はリノベーションに要する費用の一部を助成します。

## 希望を育むまちづくり

### ■ 沼田町総合教育計画策定事業 【新規】 860 千円

沼田町第2期総合計画を策定し、人づくり・地域づくりについて町民と考えることで、持続可能な地域づくりを目指します。10年先を見据えた教育を示す指針とし、教育・文化・スポーツ分野における満足度の向上を図ります。

### ■ 町営スキー場ロッジ新築工事 【新規】 245,000 千円

地元の小中学生等を中心に多くの方々から親しまれ、冬期間のスポーツ振興・体力向上を図る場でもある高穂スキー場のリフト及びロッジが老朽化していることから、リフトの更新及びロッジを新築し集客の拡大を目指します。

### ■ 高穂スキー場リニューアル記念事業 【新規】 300 千円

高穂スキー場のリフト更新及びロッジ新築を記念して、リニューアル記念式を行います。記念式には、餅撒きをはじめ、豚汁配布、オリンピックのデモ滑走、トークイベントなどを計画しております。

### ■ 文化財及びレプリカ工房移転事業 【新規】 7,429 千円

旧ふるさと資料館及びレプリカ工房の建物の老朽化に伴い、文化財及びレプリカ工房を移転し、貴重な収蔵品の展示に向けた整理を行います。

### ■ 化石体験館リニューアル記念事業 【新規】 1,155 千円

又マタネズミイルカの新たな復元骨格（レプリカ）の完成を記念した事業を行います。イベントでは復元骨格の除幕式を行い、又マタネズミイルカに関わっていただいた研究者を招き、又マタネズミイルカに関する講演を行います。





### 3 / 15 ゼロカーボン・SDGsの活動に小学校児童会も参加 児童会ペットボトルキャップ回収に感謝状

沼田小学校児童会が、ペットボトルキャップ回収運動に取り組み、NPO法人エコキャップ推進協会（横浜市中区）から感謝状が贈られました。

これは児童会が、自分達でも出来る環境活動に参加しようと全校児童に呼びかけたもので、児童達は家庭に貯まったペットボトルキャップを、毎朝児童玄関前の回収ボックスに集め、約3カ月で19キロのエコキャップを回収することができました。

回収されたキャップは、エコキャップ推進協会に渡され、医療支援や子ども達への環境教育など様々な社会貢献活動に充てられます。



### 3 / 18 夢と希望を膨らませ心はもう中学生 沼田学園沼田小学校第112回卒業証書授与式

沼田学園沼田小学校第112回卒業証書授与式が執り行われました。残念ながら、密を避けるため1・2年生はスクリーンでのメッセージ参加ではありましたが、大勢の保護者や3年生以上の在校生が見守るなか、卒業生14名が中学校の制服を着て、一人ひとり卒業証書を受け取りました。

中川浩之校長は「コロナに負けず、皆さん6年間頑張りました。その証として、卒業証書をお渡ししました。今日は人生において最初の大きな節目です。家族や周りの方々に感謝を伝えて下さい。」と式辞を述べられました。



### 3 / 18 少しでも早い野外活動を願い 中学校グラウンド除雪ボランティア

渡部建設株式会社（渡部稔代表取締役）に中学校グラウンドで雪割りボランティアをいただきました。

雪割りは毎年、地域貢献活動の一環として取り組んでいただいております。この日作業員の方は「今年の雪割りは思ったより雪が多く、例年1日の作業が、今年は2日間かけて行います。」と話していました。



3 / 今年の雪なごりは最高の予感

## 18 雪なごり瑞華 原酒蔵出し

12月17日から雪の科学館に貯蔵していた、地元ブランド酒「雪室熟成純米酒雪なごり～瑞華～」の蔵出しが3月18日（金）に行われました。

90日間、雪冷熱でじっくり貯蔵されたお酒は、口当たりがまるやかになり、角の無いのど越しの良いお酒になります。

酒米生産者の中田一之さん（真布）は「フルーティーな香りで、これまでにない出来栄えだと思う。店頭に並ぶのがとても楽しみです。」と話していました。

「雪なごり～瑞華～」の生貯蔵酒は、4月15日から町内酒小売り店で販売されています。



3 / 北海道天然記念物

## 19 ヌマタネズミイルカ復元骨格完成記念講演会

1985年に幌新太刀別川で骨がほぼ完全にそろった形で見つかり、北海道天然記念物に指定されている「ヌマタネズミイルカ」の、最新の学説を取り込みリニューアルした、全身復元骨格の完成記念講演会が、3月19日（土）ゆめっくるで行われました。

講師には鯨類化石研究の第一人者で、ヌマタネズミイルカの名付け親でもある一島啓人博士（福井県立恐竜博物館）をお招きし、今回変更になった点やヌマタネズミイルカの特徴などをわかりやすく解説いただき、会場の町民約30名はメモを取りながら聞き入っていました。



3 / 野球を愛する人たちのために

## 25 融雪剤散布ボランティア

有限会社明日萌観光バス（多田秀行会長）が、沼田町雨竜川総合運動公園町民球場でドローンによる融雪剤散布ボランティアをいただきました。

少しでも早く地域の野球愛好者がプレイできるよう、多田会長自ら融雪剤を搭載した大型のドローンを操縦してグラウンドに融雪剤を散布してくださいました。



### 3 / 沼田最後の冬のイベント開催

## 26 沼田寒中フェスティバル

とむとむ広場で、沼田町商工会青年部（小泉英之部長）主催による、～日本最後の雪まつり～沼田寒中フェスティバルが町民限定で開かれました。

雪山の正面には、イベントタイトルの文字と漫画キャラクター等が模られ、裏側には大きな巨大滑り台が作られました。子ども達は、頂上からタイヤチューブに乗り、歓声をあげて何度も滑り降り、冬のシーズン最後のイベントを楽しんでいました。

開催にあたり、小泉部長は「蔓えん防止期間を外したため、昨年より1週間遅い開催となりましたが、安心して子ども達が集まってくれて本当に良かったです。」と話していました。



### 3 / 樹液を集めてシロップ作り

## 27 森のようちえん

今年度最後となる、森のようちえんが開かれました。ほろしんの森には、まだ1m50cmほどの雪が残っており、親子合わせて10名（大人5名、子ども5名）の参加者が集まりました。

初めに白樺やイタヤカエデの木に取り付けた樹液採取するバケツから、貯まった樹液をみんなで集める作業を行い、集めた樹液は7分の1になるまで煮詰められ、甘いシロップが出来上がりました。



### 3 / 介護人材の育成・教育

## 28 介護人材の確保に関する包括連携協定

健康福祉総合センター「ふれあい」で、栗山町との介護人材の確保に関する包括連携協定調印式が締結されました。

この協定は、栗山町にある介護福祉学校の学生の確保と、沼田町の高齢者福祉施設における安定的な人材確保を相互に進めるために介護人材ネットワークを構築するもので、栗山町・栗山町教育委員会・栗山町立北海道介護福祉学校と、沼田町・沼田町教育委員会の間で調印式が行われました。

締結にあたり横山町長から「本日の協定により、お互いがキャリア教育、人材交流、人材確保にメリットが生まれるよう期待します。」と述べられました。





4

有事には皆で協力を

## 1 ライオンズクラブと社会福祉協議会が協定

災害時に設置される町災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、沼田ライオンズクラブ（富田茂将会長）と町社会福祉協議会（松田剛会長）が、4月1日（金）協定書を取り交わしました。

もしもの災害時には、町と協定を取り交わしている社協がボランティアセンターを設置しますが、そのセンターの運営を手助けする目的で今回の協定が結ばれました。

具体的には、災害時に活動するボランティアの移動用車両や資機材等の提供を想定しており、協定書を取り交わした富田会長は「こういう形で町の中の連携が進んでいくと安心して暮らしていけると思います。」と話されました。



4

元気で明るく過ごしてね！

## 5 役場主婦の会文房具寄贈

役場主婦の会（横山美紀子会長）の役員が、4月5日（火）に沼田小学校を訪れ、春から沼田小学校に通う新1年生22名へ文房具をプレゼントしました。

このプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、横山会長は「子供たちが、元気で明るく学校生活を送れるように使って欲しいです。」と文房具を中川浩之校長に手渡しました。



4

事故事件に気を付けてね！

## 5 防犯協会沼田支部が文房具寄贈

沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）が、4月5日（火）に春から沼田小学校に通う新1年生22名へ鉛筆、消しゴム、自由帳、下敷きをプレゼントしました。

自由帳や下敷きには、事故・事件に巻き込まれないために防犯標語である「いかのおすし」や自転車の安全ルールがイラスト付きで分かりやすく記載されており、石田支部長から「子供たちの安全・安心につながるよう活用して下さい。」と中川浩之校長に手渡しました。文房具を受け取った中川浩之校長は、「日頃から交通安全パトロールを実施して、子供たちの安全・安心を守っていただき、感謝しております。」と話されました。

また沼田町防犯協会では、5月に防犯・交通安全パトロールを実施する予定です。



## 4/6 今年も一年、安全に 交通安全祈願祭

沼田町交通安全協会（坂本久和会長）が、4月6日（水）に沼田神社で交通安全祈願祭を執り行い、交通安全祈願祭に参加した各団体関係者22名全員が交通安全のタスキをかけ、交通安全を祈願しました。

坂本会長は、「今年一年、交通事故の無いように努めていきたい。皆さんのご協力よろしくお祈りします。」と挨拶されました。

現在、沼田町では交通事故死ゼロ運動が3,500日を突破しましたが、これからも交通安全に努め、交通事故が起こらないことを願っています。



## 4/6 元気いっぱい！1年生 沼田学園沼田小学校入学式

4月6日（水）に沼田小学校（中川浩之校長）入学式が行われ、22名の子ども達が緊張した様子で体育館に入場し、担任の近藤先生から名前を呼ばれると元気いっぱい手をあげて返事をしていました。

中川校長から1年生の皆さんには「おはよう、ありがとう、しっかり元気よく挨拶をしましょう。」そして、保護者の方々には「6年間で心も体も大きくなります。心配事があれば何でも相談してください。」と述べられました。



## 4/6 大人へ近づく第1歩 沼田学園沼田中学校入学式

沼田中学校（里館幹彦校長）で4月6日（水）入学式が行われました。新入学生14名は制服に身をまとい、保護者に見守られながら会場に入場しました。

里館校長は、新入学生に「小学校で培った力を土台に3年間で確かな知識、豊かな心、健やかな体を養い、生きる力を身に付けてください。」と挨拶され、保護者の方々へ「安心・安全して学べる場所を提供できるよう努めていきます。保護者の方々と一緒に子ども達の成長を支えていきましょう。」と述べられました。



## 4 / 7 **たくさんお絵描きしてね！** **商工会女性部がこども園へ「色鉛筆」寄贈**

沼田商工会女性部（三浦実希部長）の役員2名が認定こども園を訪れ、年長のたんぽぽ組（14名）の子ども達に色鉛筆を寄贈されました。

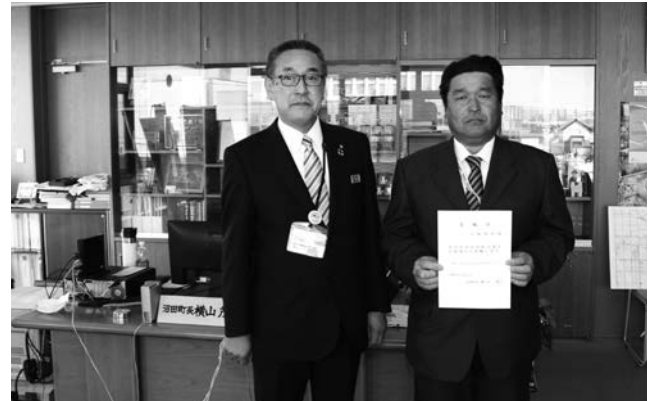
三浦部長から子ども達へ「交通安全に気を付けて元気に過ごしてください。」と色鉛筆が渡されました。色鉛筆を受け取った子ども達は「ありがとうございます」と大きな声で答え、とても喜んでいました。



## 4 / 8 **事故の無い沼田町へ** **新規交通安全指導員委嘱状交付式**

新たに交通安全指導員になられた、大堀英彰さん（共成）と木田政幸さん（東予）に委嘱状が交付されました。

横山町長からは「交通事故の無い町を目指して、これからも沼田町の交通安全に協力してほしい。」と話され、新規交通安全指導員2名を代表して大堀英彰さんに委嘱状を交付しました。



## 4 / 11 **少年の成長を見守る** **沼田すずらんの会総会**

沼田すずらんの会（藤村富士子会長）の総会が4月11日（月）に開催されました。

藤村会長は、「皆さんが、就業支援センターの子ども達へ優しく、親しみやすく接していることで子ども達が成長し巣立っています。」と話され、沼田町就業支援センターの松原統括保護観察官からは「子ども達は、何も知らない町に来てすごく不安になる。沼田すずらんの会との食事会などの皆様の献身的な対応のおかげで、1人1人の気持ちが伝わり、沼田町に来て良かったと思う子どもが大勢いる。これからも温かい目で見守ってほしい。」と感謝の挨拶がありました。





これからもよろしくお願いいたします。

# 各委員に委嘱

## 固定資産評価委員に鵜野育雄さん

3月10日（木）に開会された定例議会において、固定資産評価委員に鵜野育雄さんが再任され、横山町長から選任書を交付しました。選任書を渡した横山町長は「ご多忙とは存じますが、引き続きよろしくお願いいたします。」と述べました。

任期は令和7年3月24日までの3年間です。



## 公平委員に田島博幸さん

3月10日（木）に開会された定例議会において、公平委員に田島博幸氏が再任され、横山町長から選任書を交付しました。選任書を受け取った田島さんは「与えられた任務を務めてまいります」と挨拶されました。

任期は令和8年3月26日までの4年間です。



## 教育委員に三浦実希さん

3月10日（木）に開会された定例議会において、教育委員に三浦実希氏が選任されました。交付式で横山町長は「教育行政が進化する時代に、女性の視点でご意見をいただきたい。」と選任書を交付しました。

任期は、令和6年9月30日までです。



## 身体障がい者相談員に沼田晴子さん 知的障がい者相談員に辻よし子さん

町内在住の身体や知的に障がいのある方の相談に応じ、障がいの方の社会参加に関する活動などへの協力を行う、身体障がい者相談員に沼田晴子さん（市内4）、知的障がい者相談員に辻よし子さん（更新）に委嘱状を交付しました。

委嘱状を渡した横山町長は「町民が安心して暮らせるようお願いします。」と述べました。

委嘱期間は令和6年3月31日までの2年間です。





## 春の地域安全運動の実施

## みんなで築こう、安全で安心な大地

### 運動期間

令和4年5月11日（水）から5月20日（金）までの10日間

### 広報のポイント

- 1 子供の犯罪被害防止
  - 防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯グッズを持たせましょう。
- 2 女性の犯罪被害防止
  - 夜間は、できるだけ人通りが多く明るい道を歩くようにしましょう。
- 3 特殊詐欺の被害防止
  - 携帯電話で通話しながらATMを操作している人は、詐欺の被害に遭っている可能性がありますので、見かけた方は声掛けをお願いします。

## 生活経済事犯被害の未然防止対策の推進

「悪質業者は、う・そ・つ・き！」

【う】うまい話を信用しない！

うまい話、絶対にもうかる話には、必ず大きな落とし穴・・・

【そ】そうだんする！

ひとりで判断せず、家族・知人・相談機関に相談を

【つ】つられて返事をしない！すぐに契約しない！

悪質業者は、言葉巧みにすぐ契約するように迫ってきます

【き】きっぱり！はっきり！断る！

あいまいな返事をせず、キッパリ！ ハッキリ！ 断る！

## 自転車の すり抜け 飛び出し 事故のもと

自転車に乗るときは、正しい交通ルールやマナーを守り、交通事故に気を付けましょう。

### 自転車安全利用五則

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 車道は左側を通行
- 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 安全ルールを守る
  - ・ 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
  - ・ 夜間はライトを点灯
  - ・ 交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- 子供はヘルメットを着用

## 交通事故の発生状況（3月末現在）

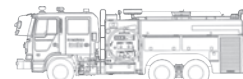
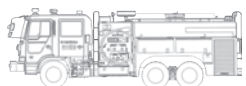
町内における交通事故件数

人身事故		物件事故	
令和4年	0	令和4年	14
令和3年	0	令和3年	13

## 犯罪の発生状況（令和4年2月末現在）

町内における犯罪発生状況

	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	その他	わいせつ犯	合計
令和4年	1	1	0	0	0	2
令和3年	0	0	0	0	0	0



## 沼田消防団が新体制になりました！

沼田消防団では、4月1日、小西新団長より昇格者へ辞令が交付されました。

また、1名の団員が新たに第1分団に入団しました。主な辞令交付者は右のとおりです。



### 就任のご挨拶

団 長

小 西 克 典

このたび消防団員各位のご推挙により令和4年4月1日付をもちまして、沼田消防団長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、決意を新たにこの職務の重責を自覚し、消防使命達成のため最善の努力をいたす所存でございますので、何卒前任者同様格別のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



副団長

大西 晴彦



第1分団分団長

上林 達夫



第2分団分団長

長野 尚



第3分団分団長

吉川 健一

### 本団人事異動

昇 格	団 長	小西 克典
	副 団 長	大西 晴彦

### 第1分団人事異動

昇 格	分 団 長	上林 達夫
	副分団長	吉澤 英範
	部 長	中野 宏秋
	部 長	上村 昌樹
新入団員	団 員	寺木 悠人

### 第2分団人事異動

昇 格	分 団 長	長野 尚
	副分団長	澤田 彰
	部 長	杉森 豊
	部 長	杉本 徹
	班 長	込山 英毅
	班 長	加葉田 征二

### 第3分団人事異動

昇 格	分 団 長	吉川 健一
	副分団長	荒木 勉
	部 長	谷口 修一
	班 長	横山 博紀

### ラッパ隊人事異動

昇 格	隊 長	加葉田 征二
	副 隊 長	和泉 浩司

### 「大切な人、大切な自分のまちを守りたい」

そんな気持ちをお持ちの方、あなたの力が必要です。

皆様の入団をお待ちしています。

入団に関するお問い合わせは沼田消防支署 消防団係までお願いします。



住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

沼田町  
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』





## 身体障害者手帳に該当とならない方への補聴器助成を行います！！

沼田町では令和4年度より、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴の方に対して補聴器購入費等への一部助成制度を開始します。

### ■ 難聴による日常生活の弊害

難聴になると他人の言っていることが聞き取りにくい、会話が上手く成立しないなどの状況から関りを避け、周囲からの情報量が減ってしまい、周囲の人との交流が減少することによって、高齢者では認知症へのリスク、小さな子どもでは学習の遅れなど、日常生活に悪影響を及ぼす恐れがあります。

### ■ 難聴の程度

db	程度	聴こえ方	音の例
0dB ~	正常	—	・時計の秒針
30dB ~	軽度	・小さな声、会話が聞き取りにくい ・聞き間違えることがある	・図書室などの静かな場所
50dB ~	中等度	・1対1の会話がやっと聴こえる	・指や紙をこする音
70dB ~	高度	・耳元での大声で少し聴こえる	・普段の話し声 ・踏切の音
90dB ~	重度	・かなり大きな音ならわずかに聴こえる	・トラックの音 ・飛行機

※聴力の程度が高度・重度の場合は身体障害者手帳に該当します。

### ■ 制度の対象者

- ◎ 18歳以上
  - ① 沼田町に住所を有する方
  - ② 身体障害者手帳を持っていない方
  - ③ 助成を受けたい方が町民税非課税または町民税均等割の方
- ◎ 18歳未満
  - ① 沼田町に住所を有する方
  - ② 身体障害者手帳を持っていない方
  - ③ 助成を受けたい児童の世帯員全員の町民税所得割が46万円以上ではない



### ■ 助成額

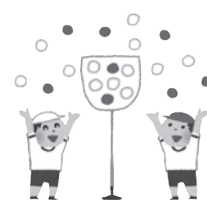
- ◎ 18歳以上
  - 購入費の1/2以内とし、上限は3万円
- ◎ 18歳未満
  - 購入費及び修理費又は基準額の2/3以内（保護者負担は1/3となります。）

◆お問合せ 役場保健福祉課福祉グループ 電話 35-2120

# 沼田町・町民体育祭の歴史（第1弾）

残念ながら2年連続で休止となっている「町民体育祭」。  
夜高あんどん祭りとは並ぶ沼田町の一大イベントです。

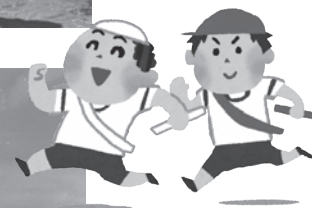
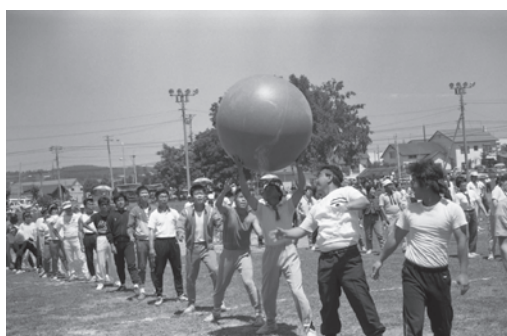
4月号と6月号の2回で、歴史ある町民体育祭を振り返ります。



## 1. 第1回大会はこうして始まった！

今年度で町民体育祭は49回をかぞえます。その長い歴史の始まり、第1回町民体育祭についてまずは振り返ってみましょう。

昭和49年（1974年）7月に第1回町民体育祭が開催されました。その何年も前から町民連合運動会と呼ばれる催しがありましたが、全町民参加の大規模イベントになったのはこの年からで、夜高あんどん祭りが始まる3年も前のことでした。



## 2. 昭和期（第1回～15回）～ 雨天中止多発、白組が大活躍！ ～

昭和49年から昭和63年までの間に、4大会が雨天中止となりました。平成の30回の大会のうち、雨天中止となったのは2大会のみだったことから、いかに雨天中止が多かったかがわかります。

また開催された11大会のうち、半数以上の6大会（第3、5、6、8、10、12回）で白組が優勝という活躍ぶりでした。ちなみに記念すべき第1回大会の優勝は黄組でした。

### ■ 第1回～15回大会の優勝組 ■

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
黄	中止	白	黄	白	白	青	白	中止	白	青	白	中止	中止	紫

■お問合せ 沼田町教育委員会 ☎35-2132  
○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



# 図書館バックヤード

## 『図書館の本の修理はどうするの?』

どんなに新しい本でも、館内で閲覧している・貸し出ししている中で、本の状態が悪くなっていき修理しなければならない状態になる本が出てきます。

図書館では万が一ご自宅で本が壊れてもセロハンテープなどを貼らないでくださいとお伝えしています。それは、セロハンテープののりが本を傷めてしまうのを防ぐためです。

またセロハンテープが古くなってしまうと、本にはりつき除去することが難しくなり、修理もしにくくなります。

図書館にある本の修理には、ボンドと水のりで作ったのりを使用したり本の修理専用のテープなどを使用します。ほんの少しのページ破れなどはのりやテープで簡単に直すことができますが、本のページを全てはずして直すような大手術をすることもあります。

借りている本のページが破れたりはずれてしまうと慌ててしまうと思いますが、壊れた本の修理は図書館で順次行っていますので、ページが破れたり、ページがはずれたままの状態でもカウンターに返却をお願いします。



## 新刊図書

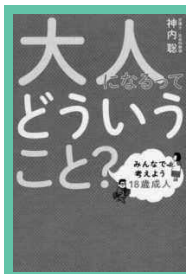
### 《一般書》

威風堂々 上・下	伊東 潤
母の待つ里	浅田 次郎
サンセット・サンライズ	榆 周平
ブラックボックス	砂川 文次
ボタニカ	朝井 まかて
スリルライフ	新庄 剛志
ヤングケアラー	毎日新聞取材班

### 《児童書》

ポップポーン	たまむらさちこ
とうもろこしぬぐぞう	はらしま まみ
やっぱりじゃない!	チョーヒカル
国会のしごと大研究 1・2	福岡 政行
大接近! 工場見学 自動車	高山 リョウ
大ピンチずかん	鈴木のりたけ

## 新刊図書おすすめ!!



『大人になるってどういうこと?』

神内 聡

今年4月から、成年年齢が20歳から18歳に変わりました。18歳になりいきなり「今日からあなたは大人です」と言われてもピンときませんよね。18歳はまだ高校生という人もいる年齢。これからは“未成年の同級生”と“成人の同級生”もいる状況になるのです。

紹介する本では、18歳成人が巻き込まれそうな契約やSNSトラブル紹介や、随所に「考える設問」も掲載されています。中高生だけでなく、大人にもおすすめの1冊です。ぜひ手に取ってみてください。

## 家から図書館の本を検索しよう

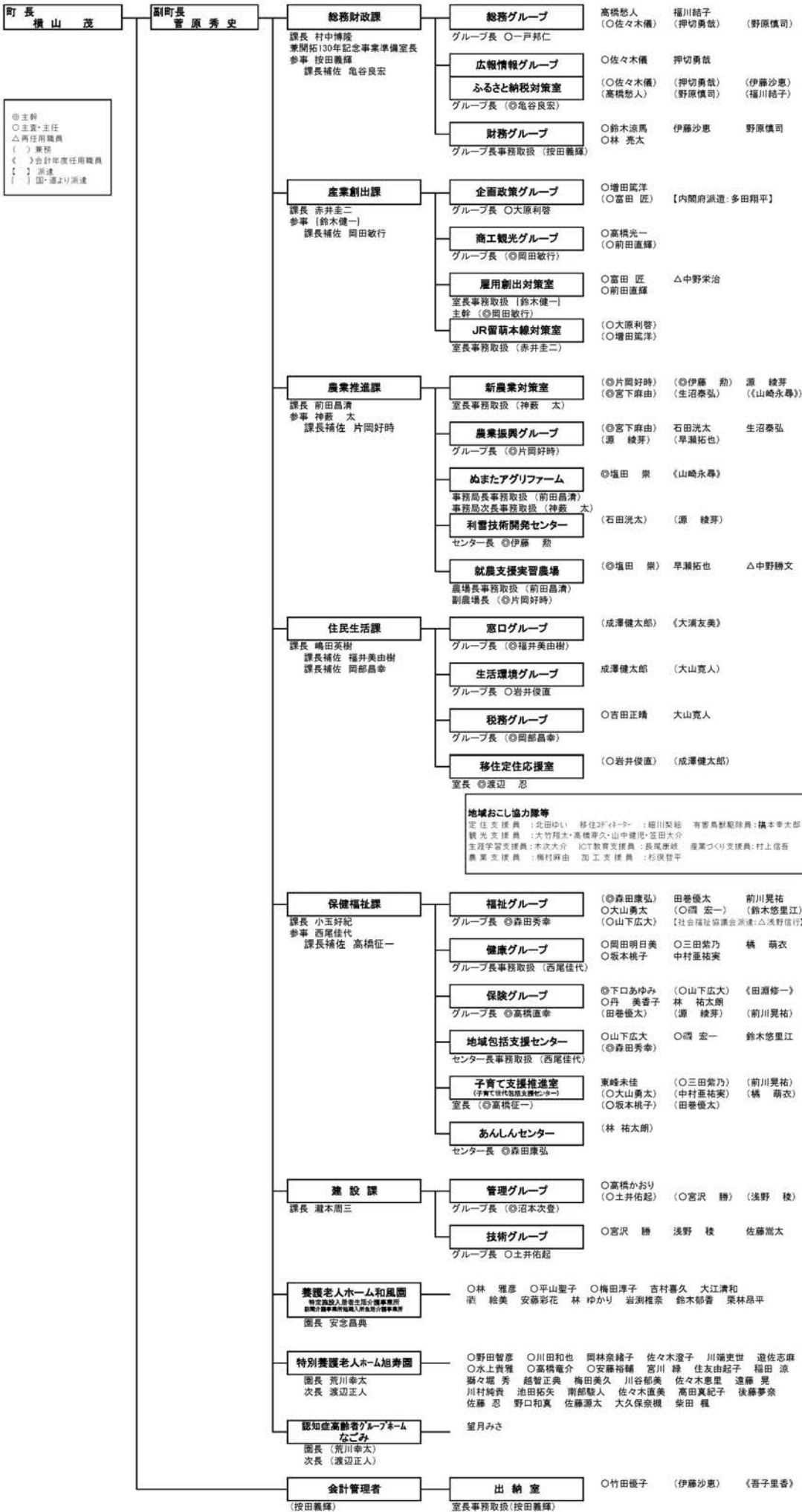
図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。

[http://opac-numata.lib-wa.net/web\\_opac/simple\\_search.php](http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php)



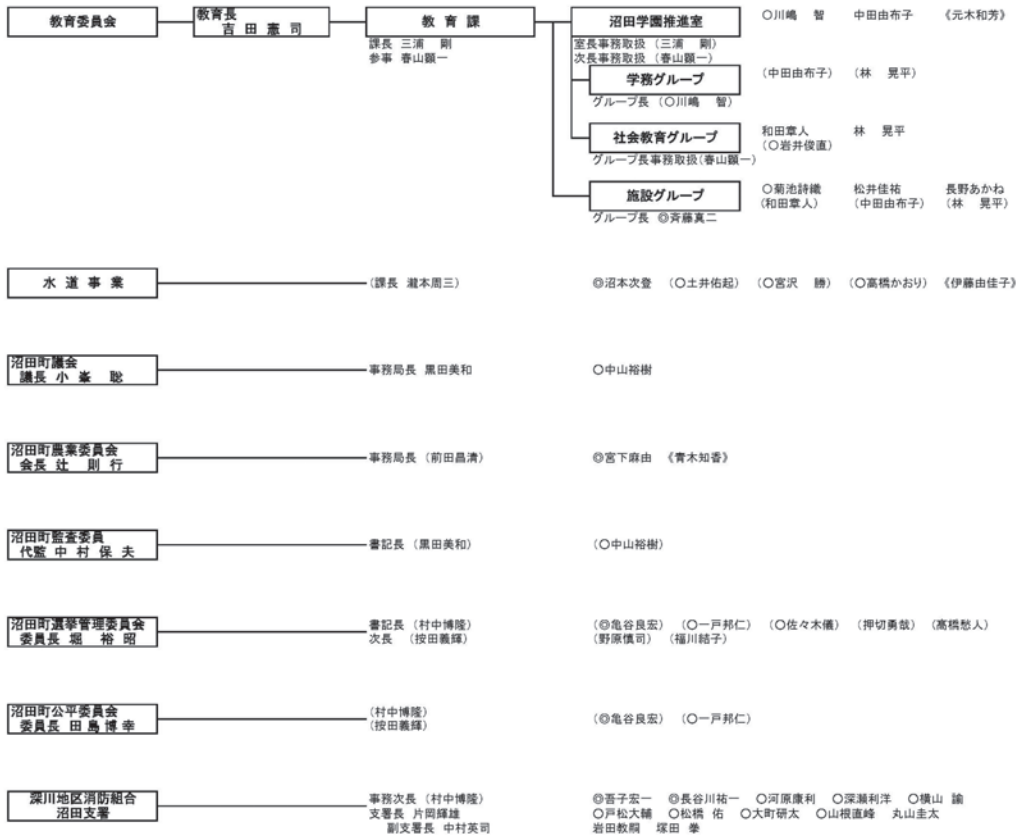


沼田町役場機構図



沼田町機構図

令和4年4月1日現在



おおやま ひろと  
**大山 寛人**



所 属：住民生活課  
出身地：札幌市  
趣 味：温泉めぐり  
抱 負：一日も早く業務に慣れ、同じグループの先輩のお力になれるよう努めます。

**新規採用職員の紹介**

4月から沼田町役場で勤務しています、5名の新規採用職員を紹介します。

さとう こうた  
**佐藤 高太**



所 属：建設課  
出身地：旭川市  
趣 味：映画鑑賞、野球観戦  
抱 負：一日でも早く仕事を覚えて、皆さまのお役に立てるよう頑張ります。

たちばな めい  
**橘 萌衣**



所 属：保健福祉課  
出身地：清里町  
趣 味：読書、旅行  
抱 負：住民の皆様から信頼していただけるような保健師を目指し、笑顔で頑張りたいと思います。

おおくぼ なつき  
**大久保 奈槻**



所 属：旭寿園  
出身地：網走市  
趣 味：ゲームかアニメ  
競馬を見ることや馬のぬいぐるみを集めること  
抱 負：学校で学んだ知識を活かして、自分が理想としている介護職になれるよう、そして利用者様が少しでも快適な暮らしができるよう全力でサポートしていただけるように頑張ります。

しばた かえで  
**柴田 楓**



所 属：旭寿園  
出身地：沼田町  
趣 味：ドライブ  
抱 負：基本的な介護技術を身に付け、利用者様に安心してもらえるような介護職員になります。

## 4月1日着任 地域おこし協力隊 笠田 大介さん

札幌市出身で、登山（アルパインクライミング）や温泉巡りが趣味の笠田さんは、産業創出課所属の観光支援員として、主に幌新地区で自然学校の設立に向けた準備を行っています。

町のみなさんと協力しながら、沼田の魅力を町外に広め、にぎわいのある沼田を目指して活動していきます。



## 4月1日着任 地域おこし協力隊 山中 健児さん

大阪府岸和田市出身で、スポーツ全般やカラオケ、ポーカーが趣味の山中さんは、産業創出課所属の観光支援員として、主に石狩沼田駅で活動しています。

生まれも育ちも大阪なので、関西人の感性を活かした観光事業等で沼田町をさらに盛り上げて行きます。



## 横山町長と話しませんか!! 「出前懇談会」

町民皆様が『町長』と直接、気軽に町のことや普段の生活のこと、その他どのようなことでもお話合いができる「出前懇談会」の受付をしています。

町長が少人数の団体や会合等に出向き、様々なご意見を伺ったり、町のことをお話したりするものです。

ご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

■お問合せ 役場総務財政課広報情報グループ 電話 0164-35-2111

### 人の動き

(令和4年3月31日現在)

人口 2,914人(前月比 △25人)  
男性 1,382人(前月比 △14人)  
女性 1,532人(前月比 △11人)  
世帯数 1,453世帯(前月比△2世帯)

#### ■総人口増減内訳

増加) 転入：25人 出生：1人  
減少) 転出：46人 死亡：5人

### 交通事故死ゼロ

(令和4年3月31日現在)

3,552日継続中!!

氏名	死亡日	年齢	住所
高橋 征克さん(男)	3月15日	82歳	市内1東
上出 忠司さん(男)	3月17日	74歳	更新
鶴野 武夫さん(男)	3月21日	96歳	市内3
立崎 琴さん(女)	4月4日	98歳	市内1東
松田 慎吾さん(男)	4月4日	44歳	仲町西
上枝 信子さん(女)	4月6日	98歳	旭町東

おくやみ